

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 101	提案機関名 公益財団法人相模湾水産振興事業団
要望問題 畜養型定置網開発研究について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ○ 相模湾の漁獲物の約7割を占め、相模湾漁業の基幹漁業となっている定置網漁業は、近年、魚価の下落により、経営が圧迫されている。 ○ そのため、魚価安定対策として、漁獲物を市場へ安定的に供給したり、市場の価格動向を見て出荷調整したり、また、魚の品質を管理する等の目的から蓄養出荷が求められている。 ○ このようなことから、地域の漁業拠点となっている「小田原漁港」では、本格的な蓄養水面の建設が進んでおり、平成24年度からは、蓄養試験の実施されている。 ○ そこで、この蓄養水面を活用した、「漁獲物の安定出荷」をより円滑に実施するため、魚の供給元である各地先の定置網に生簀網等を備え、一時的に魚をストックし、これを計画的に蓄養生簀に供給する「安定出荷型定置網」の開発研究を要望します。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	相模湾試験場
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 漁業活性化促進事業		
対応の内容等	安定出荷については、これまでの定置網漁業活性化支援事業に引き続き、平成28年度からは漁業活性化促進事業の中で研究を実施しています。平成28年3月には、小田原市漁協の米神漁場の定置網が安定出荷型へと更新され、平成29年3月には荷捌き施設も完成し、今後、小田原市漁協が行う漁獲物の短期蓄養、出荷調整も本格化することから、今まで以上に取組への支援を行うとともに、その成果を他の定置網漁場にも反映させてまいります。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			